

まんが時評

倉林 順一

高卒認定試験に向けて勉強している若者がいる。18歳のリュウ君（本人指定の仮名）。高校を早々に中退して一度だけ建築関係の正社員になったけれど朝が早く、仕事はきつかった。その後はコンビニ店員などのアルバイトをやってきたがなかなか正社員になれない。求人が多くが「高卒以上」。やっぱり高卒資格がほしいと考えたそうだ。ジョブカフェで相談したら「高卒認定」「フォーラム」を紹介され、「受験」を決意。今、フォーラムで週2回、数学を勉強中。数と式の基礎から始めて因数分解に入った。すごい速さで進んでいる。学校の授業はこうは進まない。勉強の終わりには必ず「宿題」を要求する。これまで、いろいろあったけれど明るさを失わず、もう一度勉強する決意をしたリュウ君は偉いと思う。おまけに彼は優しい。先日は休憩時間に私とフォーラムメンバーにお茶を入れてくれた。うまかった。私は彼の優しさをたっぷり味わうために出がらしを2回も飲んだ。



高卒認定試験は2004年（平成16年）度までは大検と呼ばれていたもの。高校卒業資格がない人に大学を受験するための資格が与えられた。だから大学を受験しない人には意味がなかった。でもリュウ君のように「働くために高卒資格がほしい」という人もたくさんいる。そこで文科省は2005年度から名称を改め年に2回、8月と11月に実施することにした。いろいろな事情で高卒資格を得られなかった人には挑戦しやすい目標となる。リュウ君は今年の11月受験をにらんで勉強中。8~9科目を合格することは容易ではないが、一度に全部を合格する必要はない。その人のペースで受験できる。もちろんリュウ君は全科目受験で一発認定をねらっている。